

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国語III
科目基礎情報						
科目番号	0028		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	共通教育科 (八代)		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「パスポート国語必携」(桐原書店)、「論理力ワークノート」(第一学習社)					
担当教員	道園 達也					
到達目標						
①多方面の評論的文章を正確に読解する方法を理解することができる。 ②選択したテーマについて、先行文献を読み、自分の考えをレポートにまとめることができる。 ③社会で必要とされる言語能力の基礎を着実に身につける。 ④日本語運用能力の基礎として漢字の読み・書き、敬語の用法などに熟達する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
①多方面の評論的文章を正確に読解する方法を理解することができる。	多方面の評論的文章を正確に読解する方法を理解することができる。		評論的文章を読解する方法を理解することができる。		評論的文章を正確に読解する方法を理解できない。	
②選択したテーマについて、先行文献を読み、自分の考えをレポートにまとめることができる。	選択したテーマについて、先行文献を読み、自分の考えをレポートにまとめることができる。		選択したテーマについて、自分の考えをレポートにまとめることができる。		選択したテーマについて、自分の考えをレポートにまとめることができない。	
③社会で必要とされる言語能力の基礎を着実に身につける。	社会で必要とされる言語能力の基礎を着実に身につけることができる。		社会で必要とされる言語能力の基礎を身につける。		社会で必要とされる言語能力の基礎を身につけられない。	
④日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などに熟達する。	日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などに熟達する。		日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などを身につける		日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などを身につけられない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本語で表現された様々な文章を通して、基本的な日本語読解能力を身に着ける。また、学習した表現方法を駆使しながら、自ら文章によって表現する能力を高める。さらに、日本語運用に関わる基礎的な知識を養う。					
授業の進め方・方法	上記教科書および適宜配布するプリントを用いて、多岐にわたる言語表現の精緻な読解を行う。また、日本語運用に関わる演習を行う。 毎時、ワークブックの小テストを実施するので、事前に指定された範囲について予習をしておくこと。 各授業で取り上げた内容について、授業後論点を整理しておくこと。 分野横断的能力はレポート作成や口頭発表によって測定する。					
注意点	授業への質問や要望は、メール・来室問わず随時受け付けます。 日本語で表現された様々な種類の文章を読解し自らの考えや読みを表現することで、日本語運用能力を高めるとともに、言語表現を味わい、自分の世界を拡げて行ってください。また、漢字や敬語の基礎的な知識を高め、社会人としての地盤を固めるべく、有意義な時間にしてください。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 日本語力測定試験	日本語力について、現在の実力を把握する。		
		2週	日本語力測定試験の解説／論理力第1章1 評論速読1500 (8)	日本語力について、現在の実力を把握する。論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。		
		3週	基本編第3回／論理力第1章2 評論速読1500 (9)	語彙力、および論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。		
		4週	基本編第4回／論理力第1章3 評論速読1500 (10)	語彙力、および論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。		
		5週	基本編第5回 意見文①	語彙力を養成する。 意見文を作成し、表現力を養う。		
		6週	基本編第6回／論理力第2章4 意見文①の相互評価	語彙力、および論理力を高める。 意見文を相互に評価する。		
		7週	基本編第7回／論理力第2章5 評論速読1500 (11)	語彙力、および論理力を高める 評論を読解し、表現力を養う。		
		8週	論理力第2章6 評論速読1500 (12)	論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。		
	2ndQ	9週	基本編第9回／論理力第2章7 評論速読1500 (13)	語彙力、および論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。		
		10週	基本編第9回 意見文②	論理力を高める。 意見文を作成し、表現力を養う。		
		11週	基本編第10回 意見文②の相互評価	語彙力を高める。 意見文を相互に評価する。		
		12週	基本編第11回 陶淵明「桃花源記」	語彙力を高める。 陶淵明「桃花源記」について漢文読解の基本を学ぶ。		
		13週	基本編第12回 陶淵明「桃花源記」	語彙力を高める。 陶淵明「桃花源記」について漢文読解の基本を学ぶ。		

後期		14週	基本編第13回 本の使い方	語彙力を高める。 任意の本を取り上げ、基本情報を確認し、相互に紹介 する。
		15週	基本編第14回 SDGs参考文献	語彙力を高める。 SDGs参考文献作成の準備をおこなう。
		16週	〔前期末試験〕	
	3rdQ	1週	論理力第3章8 評論速読1500 (14)	論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。
		2週	発展編第1回／論理力第3章9 SDGs参考文献発表会	語彙力、および論理力を高める。 SDGs参考文献について発表する。
		3週	発展編第2回／論理力第3章10 SDGs参考文献発表会	語彙力、および論理力を高める。 SDGs参考文献について発表する。
		4週	発展編第3回／論理力第3章11 SDGs参考文献発表会	語彙力、および論理力を高める。 SDGs参考文献について発表する。
		5週	発展編第4回／論理力演習① SDGs参考文献発表会	語彙力、および論理力を高める。 SDGs参考文献について発表する。
		6週	発展編第5回／論理力演習① 評論速読1500 (15)	語彙力、および論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。
		7週	発展編第6回／論理力演習② 評論速読1500 (20)	語彙力、および論理力を高める。 評論を読解し、表現力を養う。
		8週	論理力演習② 自由テーマの意見文	論理力を高める。 自由テーマの意見文を作成する。
	4thQ	9週	発展編第7回 自由テーマの意見文発表会	語彙力を高める。 自由テーマの意見文を発表する。
		10週	発展編第8回 自由テーマの意見文発表会	語彙力を高める。 自由テーマの意見文を発表する。
		11週	発展編第9回 自由テーマの意見文発表会	語彙力を高める。 自由テーマの意見文を発表する。
		12週	発展編第10回 自由テーマの意見文発表会	語彙力を高める。 自由テーマの意見文を発表する。
		13週	発展編第11回 夏目漱石「こころ」 (1)	語彙力を養成する。 夏目漱石「こころ」を読解し、近代小説の読解法を学 ぶ。
		14週	発展編第12回 夏目漱石「こころ」 (2)	語彙力を養成する。 夏目漱石「こころ」を読解し、近代小説の読解法を学 ぶ。
		15週	発展編第13回 夏目漱石「こころ」 (3)	語彙力を養成する。 夏目漱石「こころ」を読解し、近代小説の読解法を学 ぶ。
		16週	〔学年末試験〕	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約で きる。	3	前2,前4,前 9,前11,後5
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の 妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	前2,前4,前 9,前11,後5
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に 即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前6,前 13,後1,後 3,後9,後 10,後11,後 12
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前 15,後7,後 15
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前 15,後7,後 15
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明で きる。	3	前1,前 15,後7,後 15
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前 15,後7,後 15
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句 を用いて作成できる。	3	前15
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な 情報を収集できる。	3	前15
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前15
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わる ように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前3,前5,前 7,前10,前 12,前14,後 2,後4,後 6,後13,後 14

				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前4,前6,前9,前11,前13,後1,後3,後5,後9,後10,後11,後12,後13
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14

				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	前15,後7,後15
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	前15,後7,後15

評価割合

	試験	レポート・課題	語彙力	合計
総合評価割合	50	40	10	100
基礎的能力	50	0	10	60
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	40	0	40